

Global Challenge Program

－ 世界を舞台に学ぶ夏 －

株式会社 藤エンタープライズ 教育事業部

Enjoy the new journey to pursue your dream and fulfill your life.

僕らのミッション . . . pg 3

なぜこのプログラムか。 . . . pg 4

国内研修内容紹介 . . . pg 5-6

海外(ロンドン)研修内容紹介 . . . pg 7-8

帰国後研修内容紹介 . . . pg 9

過去の参加者の声 . . . pg 10

会社概要 . . . pg 11

OUR MISSION

やりたい事をやれる人たちを増やす

これからの時代、”指示されることを実行するのが仕事”という考え方の人は減少し、職を失っていく。

自分自身を良く知り、自分たちで考え行動していく主体的で行動力のある人たちが新しい道を開き、自身を活かした仕事を得ていく。
誰にでも出来る仕事はもう無くなる。自分で考え見つけていくしかない。

そんな世の中で、自分のやりたい事、好きな事で生きていけたら。
そんな人が日本中に、世界中に増えたら。もっとクリエイティブで
楽しい”幸せな”世界になると思う。

この先どう転んでも、自分の仕事は自分で作り出せるようにならないとい
けない時代が来る。だったらまずは自分のやりたい事を見つけてみよう。
そこに全力でチャレンジしてみよう。学生の今なら何もリスクはない。
やって失敗することよりやらずに終わる事を恐れよう。

やりたい事を見つけ、チャレンジする人達を僕らは応援します。
そのための環境は出来ています。



Global Challenge Program

なぜこのプログラムか。

やりたい事を決める力をつける為。

やりたい事が見つからない。

これは多くの人にとって一度は直面する壁では無いでしょうか。
やりたい事は実は人々全てが持っていて自分でなんとなく分かっている。
ただ、それを諦める/やらない理由が無数にあって決める事が難しい。

やりたい事の正解なんてない。正解が無いから自信が持てない。

正解が無いなら自分で決めてしまおう。決める勇気を持とう。

なるべく若いうちにやりたい事を決めて、そこに向かって一生懸命
努力してみる。

やりたい事が変わったって構わない。次はそこに一生懸命になればいい。
その繰り返し自身が自身の成長と幸せに繋がるはず。

後悔はやりたい事をやらなかった時に生まれる。やりたい事を考え、決める
力を持つ為に必要な事は、自分をよく知り、色々な人や環境に触れて自
分の世界を広げるという事。

社会で必要とされるスキルを身につけ、世界を舞台にした真剣勝負の中で
過ごす日々は、人に新しい気づきと将来を考える機会、そして自分を信じる
勇気を与えてくれる。





国内研修

コミュニケーション能力・思考力・問題解決力・
資料作成を含むプレゼン力・リサーチ力を身に付ける
(7月中旬から8月上旬までの7日間で実施)



Week 1

【Day 1】

キックオフ

プログラムの目的、趣旨の確認を通して共通したスタンスを持つ様に促す。
(主体的である、恐れずに発言する、情報は自主的に取りに行く、時間管理の癖をつける等)

自己分析

エムグラムを使った自己分析を実施。自分の特徴を理解し、ワークを通して他者理解を深める。
多様性を知りグループでのコミュニケーション力を向上させる。

【Day 2】

ビジネススキル（仮説検証、問題解決、等）

ビジネスで必須とされる問題解決・仮説検証スキルを学ぶ。問題が発生した時にどのようにその問題を捉え、どのようなフレームワークに落とし込み問題を見極め、分析し、実行プランを立てるのかを分かりやすい事例を通して学習する。

ケーススタディー、フェルミ推定

学習した問題解決・仮説検証スキルを基にケーススタディーを実施。グループで問題に取り組み、成果物発表まで実践。各チームと研修担当者からのフィードバックを通して理解度を深め、実践的なスキルとして落とし込む。フェルミ推定のワークも実施することでロジカルな考え方を養う。



Week 2

【Day 3】

英語スピーキング実践

事前に作成した自己紹介文（日本語・英語）にネイティブチェックを加えたスクリプトを使って実践演習。たった数時間で自己紹介がペラペラになるレベルに。そのワークを基に今回の海外研修で必要となってくるであろう英文を事前に調べ、喋れる状態にまで持っていくことで海外研修での不安を取り除く。英語が喋れる（ペラペラ）とはどういうことかを体感し今後の英会話学習にも役立てる。

【Day 4】

プレゼンスキル

基本となるプレゼンスキルの紹介を通してどのようなプレゼンがいいプレゼンなのかを知る。その後、身の回りにある実際に売られている商品やサービスを使い、自分がセールス担当者だったと仮定して他のグループに向けてプレゼンを実施。ビデオ撮影も行うことで自身のパフォーマンスを客観視し、具体的な良い点と改善点を確認しスキル向上に結びつける。



Global Challenge Program



Week 3

【Day 5】

エスノグラフィー調査スキル、演習

課題特定やマーケティング、ユーザーエクスペリエンス等で話題になっているエスノグラフィー（行動観察）を軸としたリサーチ方法を学ぶ。自身の考え方や経験、それに由来する自身のバイアスを認識した上で、客観的に且つ総合的に観察する癖をつける。街中でのケーススタディを用いて、観察・インタビューを通じた情報収集とそれらの情報を分析する。その結果を、どのように課題特定や問題解決へ繋げるのかを経験する。

【Day 6】

国内の事業家への売上向上施策提案

飲食店を営んでいる事業家のもとへ訪問。実際のメニューや顧客層などのデータを基に街中でのフィールドワーク（リサーチ）を実施。売上向上の為にどのような施策が考えられるかをロジカルに説明し具体的な提案まで繋げる。限られた時間・情報・リソースの中で最善解を導き出し、直接フィードバックを得る事でビジネスの本質と楽しさを体感する。



Week 4

【Day 7】

ファシリテーション、コーディネーション

会議・会合等で必ず必要になるファシリテーションとコーディネーションのスキルの概要を学ぶ。その後、グループでの実践トレーニングを実施。複数の意見をまとめ、最終的な結論を出すまでのプロセスを準備の方法から会議の場でのテクニック、そしてチームへのフォローアップの方法を習得する。

海外事前研修案内

海外研修出発にあたり事前案内（集合時間、持ち物、注意点の確認など）及び最終確認を実施。



集合研修は週2回、10:00-18:00を予定しています。
それ以外の日には個人課題（宿題）を課します。

国内での研修風景





海外研修

身につけたスキルを実践。ロンドンでの模擬ビジネス体験、実際に海外で仕事をしている人からの直接フィードバックで本当の自分に気付く

(8月中旬から8月下旬までの7日間で実施)

Day 1 現地到着。全員での事前MTG

初日はワークを行わず、宿へ移動し食事を取りながら現地の雰囲気に触れる。

Day 2 エスノグラフィー実践

日本で実践したエスノグラフィースキルを海外で実践。言語の違いを乗り越える経験と、文化の違いから世界の人々がどのように物事を捉えているのかを自分たちの目で確かめる。

Day 3 アート×ビジネス実践

ロンドンで活躍する日本人アーティストからの課題に取り組む。自分達の感性を具現化し、ロジカルに説明し他者をインスパイアする。

Day 4 海外でのイベントプランニング

自分たちでイベントを企画し、集客から実施まで行う。

ロンドンでのリサーチ・プレゼン・イベント運営風景





Day 5 事業提案

今までの学びとロンドンでの新たな気づきと経験を通して、「もっと日本を良くする為には」という課題に対してチームで事業企画を考え、プレゼンする。

現地事業家からの直接フィードバックも実施。海外研修の総まとめ。

Day 6 朝ヨガ・現地観光

朝ヨガからブリティッシュミュージアム、バッキンガム宮殿、ロンドンアイなど主要な観光名所を回る。改めて海外の空気を感じる。

Day 7 帰国



- ・日々のワークは3~4名のチームで行います。フィールドワークの際はチームに1人、現地の日本人留学生がサポートにつきまします。
- ・研修実施時間は10:00-18:00を予定しています。夕食時に振り返りを実施します。
- ・毎日その日の気づきと学びを日報という形で研修サポートメンバー及び保護者様へメールして頂きます。

ロンドンでのリサーチ・プレゼン・事業企画提案・朝ヨガ・現地観光風景





帰国後研修

日本での研修および海外での経験を通して自分の将来について考え、
自分の考えをプレゼンする
(9月中に実施)



Week 1

【Day 1】

振り返り

今までの国内外での研修を振り返り、自身の強み・弱み・興味・関心を整理する。それらに繋がる具体的な職業をリサーチし自身の将来を描く。

最終プレゼン準備

振り返りで見えてきた将来のイメージを自分達の言葉で仲間達に発表する。最終日の「将来の自分プレゼン」のための資料作成も実施。



Week 2

【Day 2】

最終プレゼン

Global Challenge Program 総まとめ。現時点で考える将来の自分の方向性を保護者様の前で語る。

帰国後研修での振り返り・最終プレゼン風景



スケジュール

1月～4月

説明会参加・Global Challenge Program 申込み

5月

Global Challenge Program事前研修

7月中旬～8月中旬

国内研修

8月中旬～後半

ロンドン研修

9月上旬

国内での振り返り研修

参加者の声



このプログラムの最大の魅力は、学校では絶対習わないことを学ぶことができることと、夢と一緒に探して応援してくれる人たちに会えるということだと思います。

ビジネススキルと書いて、少しハードルが高いとか、まだ早いかなと思ったりするかもしれませんが、でも、このプログラムで習ったことは、将来はもちろん、今の学校生活にも役立つことがあります。

また、このプログラム全体を通して、自分の行動力や思考力を上げることができるのでそういった点でも良いプログラムだなと思います。そして、藤崎さんや遠藤さん、ほかのメンバーと話して、自分のやりたいことを見つけるヒントをもらえたり、何かを頑張るモチベーションを上げることが出来ます。

私はこのプログラムで、頼りになるとても大好きな人たちと出会うことが出来ました。充実した夏休みを送りたいひとにピッタリなプログラムだと思います！
(中央大学附属高等学校2年生・女子)

このプログラムでまず良いと感じたのは、2人の社会経験豊富なメンターの方が付きっきりで手助けをしてくれたことです。質問があればすぐに返答をもらえ、短い時間でたくさんの学びを得ることができたと思います。

2人ともフレンドリーに接してくれて、どんなことでも遠慮なく聞くことができました。おかげで、プログラムに関すること以外にも、仕事や人生経験などの貴重な生の声を聞くことができ、就活生であった自分の大きな手助けになりました。

また、研修内容に関して、基礎知識の説明から実践までを、イベント計画や事業提案を通して行ったことで、知識が役立つ場面を直接実感し、実行途中で新しい発見もありました。

グループ学習が苦手だった自分には、良いメンバーと同じ課題に必死に取り組めたことはとても良い経験になっています。
(埼玉大学3年生・男子)

この研修に参加しようと思った動機は「実践的なビジネスの力を身につけたいな」と「海外で何かしらの経験をした」という薄っぺらいものでした。

しかし、この企画は私にビジネススキルだけでなく、メンバーと交流する中でそれぞれの考え方、価値観を知り、自分自身を見つめ直す機会もくれました。それによって自分が本気でやりたいことは何かと考え直すことも出来ました。

これは高校や大学で普通に過ごしていたらきっと経験することはなかったと思います。忙しかったし、頭をフル回転させ続けて疲れたけれど、国内研修と国外研修を合わせたこの1ヶ月は非常に楽しく充実したかけがえのない時間です。
(千葉工業大学1年生・男子)

僕は大学では文学部、史学科というビジネスとは程遠いことを学んでいる身ですが、そんな僕にもわかりやすいようにロジカルシンキングなどのビジネスの肝やコンサルタントとしての仕事を教えてください本当に多くのことを学びました。

特にロンドン研修では実際に現地の人々に聞き込みをしてデータを収集したり、ロンドンで働いている方に施策を提案したり、実際に自分たちで計画したイベントを実施したりと毎日毎日朝から夜まで盛り沢山で本当に大変でした！

しかし頼れる二人の先生と、このイベント参加者のメンバーと助け合うことで、非常に充実した研修でした。

確かに辛いし、頭も痛くなります、でもそれよりも楽しいと思える瞬間の方が圧倒的に多いです。

こんなに学べて、楽しくて、一生の思い出に残るようなイベント、これしかないです！ぜひ参加してみてください！
(立教大学4年生・男子)



会社概要

会社名	株式会社 藤エンタープライズ
資本金	10,000,000円
本社所在地	千葉県成田市取香242-1
代表者	藤崎 政弘
電話番号	0476-33-1098
Website	http://fuji-enterprise.jp Global Challenge Program (http://education.fuji-enterprise.jp)
主要取引銀行	三井住友銀行、千葉銀行
事業内容	不動産業（国内・海外の物件の賃貸・販売） 教育事業（学生向け海外研修プログラム） 防災支援グッズ販売 ウォーターサーバーレンタル